

首都圏中央連絡自動車道 小池高架橋(鋼上部工)工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	小池高架橋 全体数量総括表	落橋防止構造Cについて、数量の合計18,354kgは、アンカーボルトの材料を含む数量となっていますが、特記仕様書20-11(2)アンカーエの項目φ61ではアンカーボルト・ナット・座金の製作を含むものと記載があります。落橋防止構造Cの質量はアンカーボルトの質量を除いた数量にすべきではないでしょうか。	8月31日付け質問書に対する回答において、確認中としておりましたご質問について回答いたします。設計書及び設計図に誤りがありました。落橋防止構造Cについて、正しくは15,122kgになります。なお、上記については交付図書を訂正いたします。
2	小池高架橋 全体数量総括表	横変位拘束構造Aについて、数量の合計1,564kgは、アンカーボルトの材料を含む数量となっていますが、特記仕様書20-11(2)アンカーエの項目φ61ではアンカーボルト・ナット・座金の製作を含むものと記載があります。横変位拘束構造Aの質量はアンカーボルトの質量を除いた数量にすべきではないでしょうか。	8月31日付け質問書に対する回答において、確認中としておりましたご質問について回答いたします。設計書及び設計図に誤りがありました。横変位拘束構造Aについて、正しくは1,107kgになります。なお、上記については交付図書を訂正いたします。